

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：H31年3月15日

事業所名：あいランドクラブ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に基づき、定員に応じたスペースを確保している。	はい11・どちらともいえない3・わからない1	子どもの人数や活動内容に応じて、安全に活動できるよう配慮していきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づき職員を配置している。	はい13・どちらともいえない1・わからない1	現状の維持につとめます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	賃貸物件なので、バリアフリー化の工事は難しいが、必要に応じた環境作りを心掛けている。	はい14・どちらともいえない1	今後も利用児童の状況に合わせた環境設定につとめます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	1日1回共有スペースの清掃を行い、土曜日の晩は所内すべての除菌をし、清潔で心地よく過ごせる空間づくりに務めている。	はい13・どちらともいえない1・わからない1 いつも清潔で心地よい空間になっています。	心地よい空間づくりを継続しておこないます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に職員会議を実施、業務全般についての報告を行っている。		継続をする
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点で、第三者による外部評価を形式的には行っていないが、他事業所などからのアドバイスは取り入れ、業務改善を行っている。		継続をする
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	様々な研修会案内を職員に提示している。		今後も継続していく。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご家族や本人のニーズを確認し、スタッフ間で検討(ケース会議)、支援内容に反映している。	はい15 ちょうど良い課題になっています。	今後も継続してご家族・本人のニーズを大切にしていきます。

切な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童の状況に応じて、個別と集団の活動を組み合わせる。 児童発達支援計画を作成している。	はい15 具体的でわかりやすいです。	今後も個々の状況に応じた支援計画を作成します。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な支援の内容を記載している。		継続をする
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	常時支援計画を確認できるよう、個人ファイルにファイリングしている。 職員会議や申し送りなどでの情報の共有。	はい14・どちらともいえない1	今後も実施する。
適切な支援の提供（続き）	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で話し合いをしながらプランの立案。月刊プログラムを作成している。		継続する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご利用家族から相談があった場合、適宜対応している。		継続する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節行事はもちろん、毎月活動予定表を作成、配布し、様々な活動を実施している。	はい15 いろいろなプログラムで飽きずに学んでいます。	引き続き楽しめるプログラムを考えていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に、当日利用児童の申し送りや送迎車慮、到着時間や注意点など、ミーティングを実施している。		継続する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	児童帰宅後、当日の特記事項、家族からの連含め、振り返りを行って情報共有を徹底している。		継続する。

	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個々の支援を記録し、全体に共有する内容の確認をしている。		継続する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリング、支援計画の見直しを実施している。		継続する。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	依頼があった場合は、児発管や必要に応じて担当職員も参加		継続する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在利用中の児童にはいない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在利用中の児童にはいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて情報の共有をおこなっている。		継続する。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	活動の中で、見学や体験に行く事がある。		利用児童の状況に合わせての実施になっているが、継続していけるよう努める。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	支援センターが主催する研修会に参加している。		継続する。

7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域行事への参加や、当法人主催の地域行事の実施。	はい12・どちらともいえない1・わからない2 外出や町散策で外に出ているし、あえて交流する機会を持つ必要はないと思う。	参加を継続していきます。
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事を地域の方に手伝っていただき運営。地域の行事にも積極的に参加している。		継続する。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に記載、契約時にしっかり説明を行う。また随時、運営や支援内容についても疑問や質問があれば受け入れ回答する体制を整えている。	はい14・わからない1	今後も実施するとともに、さらに徹底していきます。
2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個人面談にて、支援計画書を示しながら、丁寧な説明をしている。	はい15	今後も実施します。
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今年度はトリプルPの研修会を実施	はい13・どちらともいえない1・いいえ1	プリント配布だけでなく、研修会の案内を口頭でも行い、周知を徹底していきます。
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳での日々の様子や変化の情報交換、必要に応じて電話や面談を随時行っている。	はい15 細かくマメに話していただき、成長と一緒に見守ってもらっている。先生による。	ご家族との共通理解を徹底していきます。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	問い合わせがあったときや、必要に応じて適時対応している。	はい13・どちらともいえない1・いいえ1	今後も、ご家族から相談があった際は、その都度対応していきます。
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	事業所内での茶話会、法人内での親子交流会など実施している。	はい14・どちらともいえない1 たくさん開催してもらっています。	今後も実施します。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情を受け付けた際は、運営規定にのっとり対応する	はい14・わからない1 苦情について、聞いたことがないし、感じたこともない。なんでも言えばすぐに対応してくれて、信頼関係ができています。	今後も迅速な対応をしていきます。

	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要な児童に対しては、視覚的な支援を取り入れています。	はい14・どちらともいえない1	今後も実施していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ケアット通信を年4回発行。随時フェイスブックにて活動の様子を報告している。	はい14・わからない1 プリントの配布をしていただいている。	今後も実施していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のある書類は、鍵付きの棚に保管、情報は外部に持ち出さないよう取り組み、子どもの個人情報使用に関する同意書を保護者よりいただいている。	はい14・わからない1	今後も継続していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいる。	はい13・どちらともいえない2	年度始めには再度書類の配布、必要に応じてマニュアルの改訂を行い、周知徹底を継続します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年間計画をたて、月1回の避難訓練を実施。避難所までのルート確認を繰り返している。	はい14・わからない1	今後も継続していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部に虐待防止研修を受けに行き、社内でも虐待研修を行っている。		外部研修にも積極的に参加。その内容を職員に周知徹底をします。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要とする子どもの利用が現在なし。		必要があれば、関係機関と連携して支援するとともに、支援計画に記載します。

5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書が必要なケースは現在なし。家族からの聞き取りのみで対応している。		医師の指示書が必要なケースは、家庭や学校、関係機関と連携し、指示書に基づいて支援していく。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内にて、1日の終わりに報告。記録に残し、情報の共有。大きな事例の場合、管理者会議や理事長に報告。		今後も、情報の共有を徹底していく。